

熊本大学大学院生命科学研究部公衆衛生学分野では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、対象となる患者さんがインフォームドコンセントを受けない場合において、研究の目的を含む研究実施についての情報を公開することが必要とされております。利用する情報からは、お名前、住所など直接個人を特定できる情報は削除します。また研究成果は学会や雑誌等で発表されることがありますが、その際も個人情報やプライバシーにかかわることは一切公開されません。本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までご連絡下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方に ご了承いただけない場合には、研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名：喫煙者に対する直腸癌の腹腔鏡下低位前方切除術における周術期合併症の検討  
(熊本大学大学院生命科学研究部倫理審査委員会：承認番号 1431 号)

研究責任者：熊本大学大学院生命科学研究部 公衆衛生学分野 博士課程  
熊本赤十字病院 第二麻酔科部 井上克一

研究期間：2017年8月30日～2021年3月31日

研究目的と意義：周術期における喫煙の影響について検討する。喫煙することによって非喫煙者と比較し、術後合併症・術後在院日数が増加するかを検討する。また、術前に禁煙期間を設けることによって術後合併症・術後在院日数がどの程度減少するかを解明する。

研究方法：

●対象

熊本赤十字病院で2010年4月から2017年7月の間に直腸癌で腹腔鏡下低位前方切除術を施行した患者約100名。

●利用するカルテ情報

年齢・性別・呼吸機能(%VC, FEV1.0%)・BMI・術前合併症(糖尿病)・麻酔時間・手術時間・気管内挿管～手術開始時間・手術終了～抜管時間・術中出血量・術後合併症発生数・術後在院日数

●方法

熊本赤十字病院で直腸癌に対する腹腔鏡下低位前方切除術を施行された患者を①患者を喫煙歴なし②術前禁煙(術前5週間以上禁煙)③術前禁煙(術前4週間以内に禁煙)④喫煙を継続した症例に分け、上記の評価項目の比較検討を行う。なお、他機関への情報提供はない。

お問い合わせ先：熊本赤十字病院 第二麻酔科部 井上克一  
〒861-8520 熊本市東区長嶺南2丁目1番1号  
TEL：096-384-2111 FAX：096-384-3939